

※入札公告を必ず確認してください。(海老名市ホームページに掲載しています)

入札案件概要書 (工事)

契約番号 : 7104

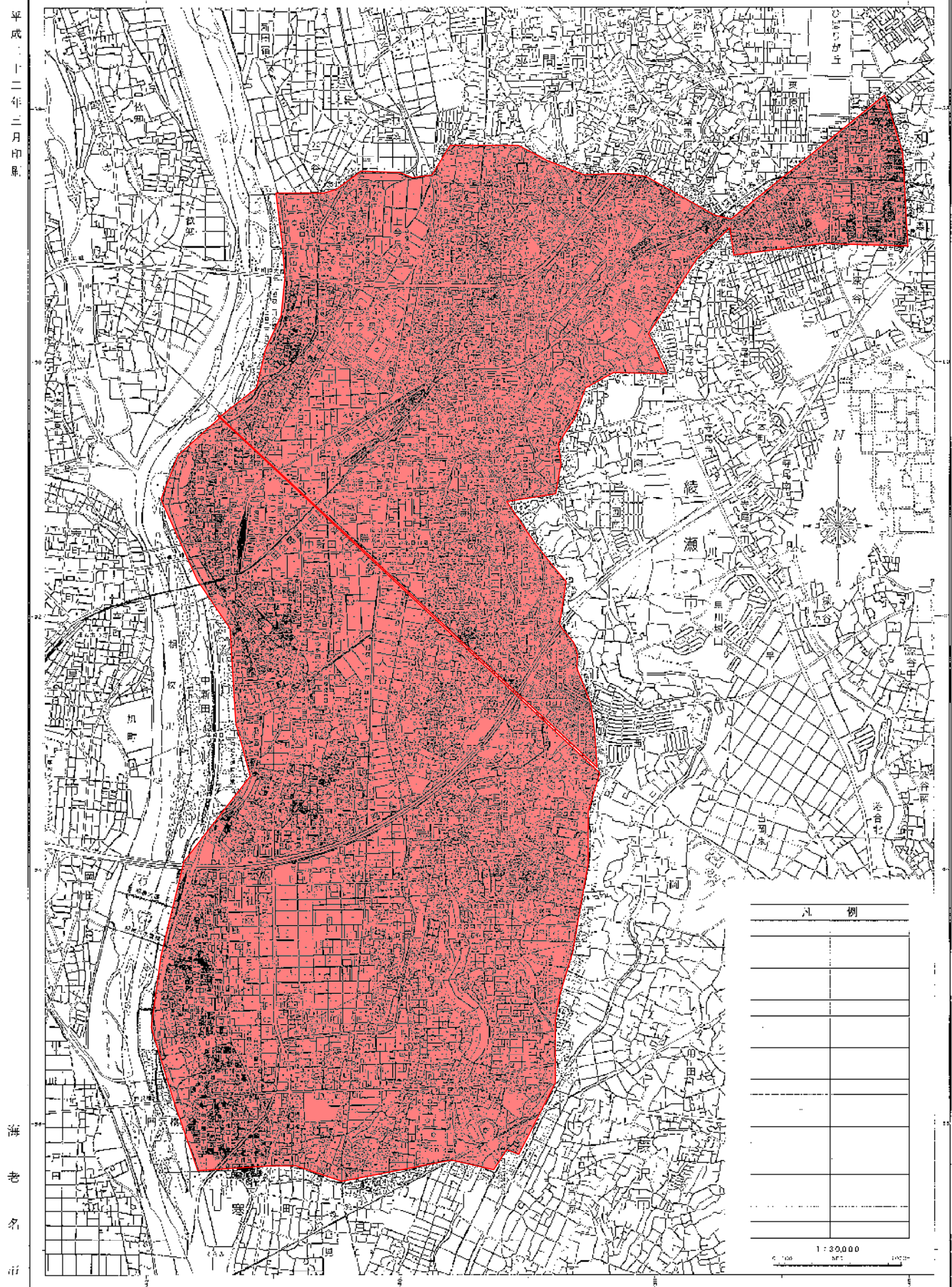
件 名	路面カラー舗装 (単価契約)	
履行場所	海老名市内一円	
工 期	令和7年4月17日～令和8年3月31日(349日)	
工事の内容等	別紙 仕様書等 のとおり ○入札は総額(税抜)の比較で行います。	
予定価格	8,470,000 円 (税込)	7,700,000 円 (税抜)
最低制限価格	有り (開札後算定型) 詳細は海老名市最低制限価格等取扱基準及び入札説明書等を参照してください。	
落札候補者の入札金額が、調査基準価格(70%)未満の場合 ※ただし、予定価格(税込)100万円以下の案件は除く。	<u>契約締結にあたっての制限等</u> ○ 技術者と現場代理人の兼務不可 ※前年度の工事評定平均が「B(75点)」以上である場合は除く。 ○ 技術者及び現場代理人の他案件(本市入札案件)との兼任不可 ※技術者等の兼任制限が解除されている場合でも不可 ○ 前払金の制限(金額上限、中間前払金の制限など) 契約金額の20%以内(海老名市契約規則により、前払金が適用となる場合に限ります。) ※前払金の上限金額は5,000万円以下。中間前払金の支払いはありません。 <u>契約保証</u> 契約金額の30%以上に相当する次のいずれかの手続きが必要です。 ※現金納付及び実績による免除はありません。 (ア) 金融機関又は保証事業会社の保証 (イ) 公共工事履行保証証券による保証 (履行ボンド) (ウ) 履行保証保険契約の締結 (定額てん補)	
入札方法等	条件付一般競争入札 (電子入札)	
質疑 (仕様等に関する事項)	所定の書式により、FAXで受け付けます。 電子入札システムの機能は使用しないでください。	

参 加 条 件	営業種目	170 塗装 経審 - 点以上 - 点未満	○下請契約の請負代金の合計の額が5千万円(建築一式工事の場合は8千万円)以上となる場合には特定建設業の許可が必要です。 併せて、主任技術者に代えて監理技術者を配置すること。
	発注区分 詳細は入札公告で確認してください。	第 4 区分	第1・第2区分の入札に初めて参加する場合は、営業実態調査票及び認定書の写しを提出してください。
	その他の要件	告示日現在で社会保険(健康保険、厚生年金保険及び雇用保険)に加入していること。 ※法令に基づき社会保険適用を除外されている場合を除く	
	落札件数制限	なし	
配置技術者等の兼任について		本案件に配置する主任(監理)技術者及び現場代理人は、工事・コンサル・一般委託の区分を問わず同じ開札日の他の案件に配置できません。	
事前提出書類 (システム添付)		参加資格確認申請時に次のファイルを添付してください。 ファイルは一つにまとめてください。 ○告示日現在で社会保険(健康保険、厚生年金保険及び雇用保険)に加入していることを証する書類の写し。(次の(1)～(3)のいずれか)	

	(1) 経営規模等評価結果通知書・総合評定値通知書（経営事項審査）の写し <u>※経営事項審査の有効期限内の通知書を提出していれば提出不要</u> (2) <u>（同通知書発行後に社会保険に加入した場合）</u>健康保険、厚生年金保険及び労働（雇用）保険料の領収書の写し (3) <u>（法令に基づき社会保険適用を除外されている場合）</u>健康保険、厚生年金保険及び雇用保険の加入義務がないことの届出書
入札時提出 (システム添付)	なし
落札候補者が 提出する書類 (FAX046-232-6574)	開札後、落札候補者は次の書類をFAXで提出してください。 (落札候補者決定の翌開庁日午前10時まで。詳細は開札後FAXで通知します。) ○入札金額内訳書（本概要書添付の内訳書を使用してください） ○配置技術者等に関する書類 ○建設業許可の確認できる書類 ※健康保険被保険者証の写しを提出する場合は、被保険者等記号・番号及び保険者番号（3箇所）にマスキング(黒塗り)をして提出してください。

1:30,000 地形圖

平成十二年三月印刷



海
老
名
iii

⁹ 元21年(慶長17)に、650両の金に引き換えられたりでなく、

『小説の語は、同義語の語彙に於て決りきつてゐる。『小説の語彙』(中村文太郎著)に於て、さういふ語彙が補綴して見られるのである。』

路面カラー舗装（単価契約）仕様書

1. 履行件名 路面カラー舗装（単価契約）
2. 履行場所 海老名市内一円
3. 契約期間 令和7年4月17日から令和8年3月31日
4. 業務の目的

本業務は、車両や歩行者に対し、通行区分及び注意喚起等の路面カラー舗装を明示し視認性を高め、安全な通行を確保するとともに道路の適正な維持管理を行うことを目的とし、執行するものです。

5. 業務内容

- ① 舗装面の補修や経年劣化等により亡失した路面着色の塗り直し。
- ② 学校や自治会要望から交通管理者等との調整により交通安全対策上、必要とされる路面着色の新規設置。

6. 見積方法 1 m²当たりの単価

工種毎に単価を算出し、それに別添の入札金額計算書の予定数量を乗じたものを合計し入札を行い、契約については工種毎の単価契約とする。

7. 執行方法

- ① 書面（作業指示書）にて施工箇所の指示を行うものとする。ただし、急を要する作業が発生した場合、指示書に換え、業務責任者に対し、口頭にて指示を行うものとする。
- ② 指示書に明記した期間内に作業を完了し、別添報告書並びに写真（作業前・後、施工中）を提出するものとする。

尚、標準的な作業期間は2週間程度とし、特に時間を要するものについては、別途監督員と協議し定めるものとする。
- ③ 作業完了後不十分な箇所が発見されたときは、作業のやり直し等適切な処置をとるものとする。

8. 住民対応

- ①受注者は、業務を実施するに当たり、住民等から作業内容について説明を求められた場合、説明を行い理解と協力を得るものとする。
- ②受注者は、地先住民等から要望等があった時は、遅滞なく監督員に申し出ること。また、要望者に対し誠意を持って対応し、対応結果を報告書により速やかに報告するものとする。

9. 安全対策

- ①受注者は、作業に従事する者に対し、定期的に当該作業に関する安全教育を行い、作業員の安全意識の向上を図るものとする。
- ②現場の作業環境は、常に良好な状態を保ち、機械器具その他設備等は、常時点検し、作業従事者の安全を図るものとする。
- ③作業中は誘導員を1名以上配置し、交通整理を適切に行い、作業現場周辺の住民並びに通行者の安全確保を行なうと共に交通の円滑な処理に努めるものとする。

10. 検査及び支払い

- ①検査は、指示書ごとに報告書提出後、速やかに実施するものとする。
- ②支払いは、検査終了後、指示書ごとに行うものとする。

11. 環境対策（海老名環境マネジメント関係）

本業務を行なうにあたり、「海老名市環境方針」を遵守し、次の事項に配慮すること。

- ① 低騒音・低振動型作業機械を使用する。
- ② 排ガス規制に適合した作業機械・車両を使用する。
- ③ 周辺住民の生活を妨げないように作業時間帯を設定する。
- ④ 工事用作業機械・車両の待機中はアイドリングをしない。

12. その他

- ① 業務の履行については、契約書に基づき行うこととし、定めのない事項や疑義が生じた際は、事前に協議を行い定めるものとする。
- ② 道路使用許可は契約期間分を市にて取得するものとする。
- ③ 施工規模の大小及び発注総数量が予定数量に達しなくとも異議無く施工する

ものとする。

④ 想定する指示数量について

- ・ 指示書回数は、4 回程度。
- ・ 1 回の指示書での路線数は、標準で 6 路線程度。
- ・ 1 回の指示書での施工数量は、標準で 100 m²以上。

※過去 2 年間の実績によるもの。

⑤ 現場作業にあたり、路面標示施工技能士（溶融ペイントハンドマーカー工事作業）を配置するものとする。

⑥ 法定外の労災保険の加入

本工事において、受注者は法定外労働災害補償制度（法定外の労災保険）に加入しなければならない。また、受注者は保険契約を締結したときは、発注者にその証券等を提示しなければならない。

⑦ 現場作業に先立ち、舗装面の異常や不法占用物等の支障物を発見した際は、監督員の指示に従うこと。

溶融噴射式カラー塗装に関する特記仕様書

1. 材料

材料は、路面標示用塗料 JIS K 5665（路面標示塗料）3 種（溶融）規格に準拠するものとする。

2. 品質

項 目	性 状
密度（23℃） g/cm^3	2.3 以下
軟化点 $^{\circ}\text{C}$	80 以上
塗膜の外観	正常である。
タイヤの付着性	タイヤに付着しない。
耐摩耗性（100 回転について）	摩耗原料が 200 mg 以下である。
圧縮強さ（23℃） kM/cm^2	0.802 以上
耐アルカリ性	異常がない
硬質骨材の含有量 質量%	13.5～16.5
屋外暴露	割れ、はがれ及び色の変化

3. 色相

塗料色は、事前に監督員に色見本を（塗膜見本）提出し承認を得てから施工すること。

※鉛クロムフリー材料とする。

4. 施工管理

材料塗布厚は $t=1.7\text{mm}$ 以上を標準とする。

施工初期時のすべり抵抗値（BPN）は湿潤時 80 以上とし、試験方法は「振子式スキッドレジスタンステスターによる方法」（舗装調査・試験法便覧）によるものとする。

気温 5°C 以下の場合は、施工を避けること。やむを得ず施工する場合は、路面を予熱し路面温度を上昇させた後、施工すること。

樹脂系滑り止め舗装に関する特記仕様書

1. 材料

使用材料および使用数量は、樹脂舗装技術協会の仕様を適用する。規格については、監督員指示に従うこと。

規格一覧

規格	内容	舗装面	トップコート	硬質骨材	備考
RPN-501	カラートップ	密粒(新設・既設)	有	カラー	

2. 品質

樹脂舗装技術協会の仕様を適用する。

3. 色相

路肩部のグリーンを標準とする。色相については、事前に監督員の承認を得てから施工すること。

4. 施工管理

施工初期時のすべり抵抗値（BPN）は湿潤時70以上とし、試験方法は「振子式スキッドレジスタンステスターによる方法」（舗装調査・試験法便覧）によるものとする。

交通開放後、余剰骨材や骨材の脱落がある場合は、道路面や排水施設等の清掃を行い、脱落がおさまらない場合は、補修など必要な措置を行うこと。

施工条件明示書（土木工事共通）

1 工事概要

発注者	海老名市		
工事件名	路面カラー舗装（単価契約）		
工事場所	海老名市内一円		
工事目的	路面のカラー舗装の新設及び引き直しにより安全な通行を確保し、適切な維持管理を行う。		
工事概要	1 カラー舗装工 1.0式 2 仮設工 1.0式		
契約工期	令和7年4月17日 から 令和8年3月31日 まで		
事業区分	☐ 補助金事業	☐ 国庫	
		☐ 県費	
	☒ 市単独事業		
設計区分	☒ 単独積算		
	☐ 合算積算	工事	
		工事	

2 積算諸条件

主たる工種 : 道路維持工事
施工地域・工事場所区分 : 市街地(DID補正)
契約保証の方法 : 保証なし
施工パッケージの使用（一部使用含む） ☐ 有 ☒ 無
週休二日制確保工事該当の有無 ☐ 有 ☒ 無

【使用歩掛及び単価等】

☒ 土木工事標準積算基準書 適用年版：令和 6 年 7 月
☒ 諸経費率 適用年版：令和 6 年 7 月
☐ 下水道用設計標準歩掛表 適用年版：令和 年版
☒ 土木工事資材等単価表 適用年版：令和 7 年 1 月
☐ 刊行物 適用年版：令和 年 月
☐ 特別調査 適用年版：令和 年 月
☒ 海老名市見積単価等 適用年版：令和 7 年度
☐ その他（ ） 適用年版：令和 年 月

3 施工条件

【1】 工程関係	1	他工事による当工事の着手、完了時期の制約について	☒ 無 (他工事件名等) ☐ 有 (工期、内容等)
	2	当工事における施工時期の制約について	☒ 無 (制約を受ける施工内容等) ☐ 有 (施工時期等)
	3	施工時間について	☒ 昼間施工 (その他特記事項) ☐ 夜間施工 (一部含む)
	4	官公庁ほか関係機関との調整、協議について	☒ 無 (関係機関名) ☐ 有
	5	工事着手前に地上物件(家屋調査)、地下埋設物、埋蔵文化財の事前事後調査、又は、移設等の制約について	☒ 無 (対象内容) ☐ 有
	※ただし、施工上必要となる地下埋設物調査については、施工計画書に明示し、必要な措置を講じること。また、書面により報告すること。		
【2】 用地関係	6	設計工程上見込んでいる休日日数等作業不能日数について	☒ 無 (詳細内容、作業不能日数等) ☐ 有
	1	工事用地等の未処理部分について(用地買収状況について)	☒ 無 (用地未取得部分等) ☐ 有 (取得予定年月日等)
	2	工事用仮設道路、資材置場等の用地の借用について	☒ 無 (使用場所、期間、借用条件、復旧方法等) ☐ 有
【3】 公害関係	3	使用後の復旧条件	☒ 無 (復旧内容等) ☐ 有
	1	公害防止のため、施工方法、建設機械、作業時間等の制限について	☒ 無 (建設機械と制限内容) ☐ 有 (作業時間と制限内容)
	2	水替期等の処理で特別な対策等の必要性について	☒ 無 (対策内容) ☐ 有

【４】 安全対策 関係	1	安全施設等の指定について（有毒ガス及び酸素欠乏等の対策として換気設備の設置等の含む）	☒ 無 （指定内容） ☐ 有
	2	鉄道、ガス、電気等の施設と近接する工事の施工方法、作業時間の制限	☒ 無 （対象内容） ☐ 有 ☐ 鉄道 ☐ ガス ☐ 電気 ☐ 電話 ☐ 上水道 ☐ 下水道 ☐ その他（ ）
	3	交通誘導警備員の配置について	☐ 無 （１）交通誘導員の配置 全工程 1 人／日 ☒ 有 （２）配置期間 施工中
【５】 工事用道 路関係	1	一般道路を搬入路として使用する場合の制約について	☒ 無 （搬入経路・使用期間等の制限） ☐ 有 （搬入中・後の処置）
	2	仮設道路を設置する場合の制約について	☒ 無 （仮設道路に関する安全施設） ☐ 有 （工事後の措置、維持補修内容）
【６】 建設副産 物関係	1	建設発生土が発生する場合について	☒ 無 （建設発生土の処分先） 名称： 住所： ☐ 有
	2	建設副産物及び建設廃棄物が発生する場合について	☒ 無 （対象内容） ☐ コンクリート塊 ☐ アスファルト・コンクリート塊 ☐ 建設発生木材 ☐ 建設発生木材（伐木・除根材） ☐ 建設汚泥 ☐ 建設混合廃棄物 ☐ 金属くず ☐ その他（ ） ※建設廃材指定登録工場に限る。工場側の指示を遵守すること
	※この工事が「資源の有効な利用の促進に関する法律（平成３年法律第48号）」の規定より再生資源利用促進計画の作成を要する工事である場合は、受注者は、工事の施工前に発注者に再生資源利用計画を提出し、その内容を説明しなければならず、工事の完成後に発注者から請求があったときは、その実施状況を発注者に報告しなければならない。		
【７】 工事支障 物件	1	工事支障物件について（地下埋設物含む）	☒ 無 （対象内容） ☐ 電柱 ☐ 上水道 ☐ 下水道 ☐ 電話 ☐ ガス管 ☐ 有 ☐ 架空電線 ☐ 標識・看板 ☐ その他（ ）
【８】 薬液注入 関係	1	薬液注入について	☒ 無 （対象内容） 工法区分： 使用材料： ☐ 有 施工範囲、削孔数： 注入量： 施工管理基準等：

【9】 その他	1	工事現場発生品がある場合について	☒ 無 ☐ 有	(品名、数量等)
	2	支給材料及び貸与品がある場合について	☒ 無 ☐ 有	(品名、数量等)
	3	特殊・特定使用材料を使用する場合及び資材搬入等に制限がある場合について	☒ 無 ☐ 有	(品名、数量、搬入制限等)
	4	発生売却品評価額(スクラップ等)を計上している場合について	☒ 無 ☐ 有	(品名等)
	5	工事を行うにあたり注意すべき事項	☐ 無 ☒ 有	(1) 歩行者、車両の通行に支障のないように作業計画をたて周辺住民へ配慮すること。 (2) 関係自治会、周辺家屋への工事の周知を行い、トラブルのないように努めること。 (3) 工事箇所によっては、施工時間等調整を行うこと。 (4) 工事施工中の歩行喫煙や路上駐車については十分注意。また、騒音振動の発生には十分注意すること。 (5) 安全管理に留意すること。 (6) 円滑な施工を行うためには、指示書箇所について事前に調整を行い、その結果を遅滞なく監督員に報告すること。

※明示されない施工条件、明示事項が不明確な場合は、契約書等の関連する条項に基づき甲・乙協議により決定すること。

令和 7 年 度
路面 カラー 舗 装 （ 単 価 契 約 ） 設 計 書

番 号	R6-7歩掛、R7- 1 単価	施 工 年 度	令和 7 年度
名 称	路面カラー舗装（単価契約）		
場 所	海老名市内一円		
施 工 主	海老名市	概要 路面カラー舗装工1.0式 溶融噴射式カラー塗装工1.0式 樹脂製滑り止め舗装工1.0式 仮設工1.0式	
設 計 区 分	道路維持工事		
路 線 名			
期 間	令和 7年 4月 17日 ～ 令和 8年 3月 31日		
日 数	349 日		
部 課 名	まちづくり部道路管理課		
積 算 担 当	維持補修係		
合 計 額			
価 格			
消費 税 相 当 額			

内 訳 書

工 事 区 分	工 種	種 別	細 別	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
費	道路維持工事							場所区分:市街地(DID補正)
		カラー舗装工		式	1			A- 1号内訳書
		仮設工		式	1			A- 2号内訳書
	直接工事費計							
	共通仮設費計							
		共通仮設費		式	1			
	純工事費							
		現場管理費		式	1			
工事原価								
		一般管理費		式	1			
工事価格								
消費税相当額								
合計額								

間 接 費 明 細 書

設 計 条 件					
工 種	道路維持工事	工事日数(内冬日数)	349日/151日	共通仮設費対象外額	
場所区分	市街地(DID補正)	支給品費		現場管理費対象外額	
前払い率	補正なし	処分費		一般管理費対象外額	
契約保証区分	補正なし	処分除外費		支給共仮費対象外額	
積雪寒冷地域	なし				

算 出 基 礎

※補正係数を乗じる場合は係数を乗じて、小数3位四捨五入2位止めとする。

$$\begin{aligned} \text{共 通 仮 設 費} &= \text{対象額} \times \text{率} \\ &= \quad \times \quad \% \\ &= \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{対象額} &= \text{直接工事費} + \text{支給品費} + \text{事業損失防止施設費} - \text{共通仮設費対象外額} - \text{支給共仮費対象外額} + \text{準備費処分費} - \text{処分除外費} \\ &= \quad + \quad + \quad - \quad - \quad + \quad - \\ &= \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{率} &= \text{対象額による率} \times \text{地域補正係数} \\ &= \quad \% \times \\ &= \quad \% \times \rightarrow \therefore \% \end{aligned}$$

$$\text{対象額による率} = \quad \%$$

$$\begin{aligned} \text{現 場 管 理 費} &= \text{対象額} \times \text{率} \\ &= \quad \times \quad \% \\ &= \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{対象額} &= \text{直接工事費} + \text{共通仮設費} + \text{支給品費} + \text{支給品費(現)} - \text{現場管理費対象外額} - \text{支給現場費対象外額} - \text{処分除外費} \\ &= \quad + \quad + \quad + \quad - \quad - \quad - \\ &= \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{率} &= \text{対象額による率} \times \text{地域補正係数} \\ &= \quad \% \times \\ &= \quad \% \times \rightarrow \therefore \% \end{aligned}$$

$$\text{対象額による率} = \quad \%$$

間 接 費 明 細 書

算 出 基 礎

一 般 管 理 費 = 対象額×対象額による率+対象額×契約保証補正值－調整額
= × % + × %－
=

対象額 = 工事原価－一般管理費対象外額－処分除外費＋一般管理補正額
= － － ＋
=

対象額による率 = %

[illegible]

A- 2号				仮設工				1式当たり		内訳書	
名 称		規 格		単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要			
交通誘導警備員B				現場	1			C- 2号単価表			
計											

C- 1号		樹脂系すべり止め舗装工					1㎡当たり	単価表
RPN-501（歩道, 自転車道）								
名 称		規 格		単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
樹脂系すべり止め舗装工		RPN-501		㎡	1			
計								

C- 2号

1現場当たり

单価表

交通誘導警備員 B

[illegible]

[illegible]

[illegible][illegible]

入札金額内訳書（落札候補者提出用）

令和 年 月 日

海 老 名 市 長 殿

住 所

商号又は名称

代表者職氏名

印

件 名	路面カラー舗装（単価契約）
--------	---------------

工 種	規 格	単価(税抜)	予定数量	合 計
溶融噴射式 カラー塗装	グリーン	円	380 m ²	円
樹脂系滑り止め舗装	RPN-501 (密粒・カラー)	円	70 m ²	円
		円	m ²	円
		円	m ²	円
		円	m ²	円
		円	m ²	円
		円	m ²	円
		円	m ²	円
		円	m ²	円
		円	m ²	円
合 計			入札額	円

- (注) 1. 金額は、消費税及び地方消費税を除いた額を記入してください。
2. 金額を訂正したものは、無効とします。

[illegible][illegible]